

6 日本経済の動向 Developments in the Japanese Economy

(1) 景気の変化 Change of the Economic Condition

		景気 Business cycle	主な出来事 Incident	実質経済 成長率 (%) Real GDP Growth	消費者 物価指数 (前年比%) Consumer Price Index (Change from previous year)	公定歩合 (年末値) (年率%) Central bank discount rate (end of year)
1970	昭和 45	(いざなぎ景気)		7.4	7.7	6.00
71	46	46年12月～48年11月 (列島改造ブーム)	1971.12. スミソニアン体制	5.5	6.3	4.75
72	47			9.0	4.9	4.25
73	48			8.8	11.7	9.00
74	49			▲0.1	23.2	9.00
75	50	50年3月～52年1月 (好況)	1975.11. 第1回サミット(ランブイエ)	4.4	11.7	6.50
76	51			2.9	9.4	6.50
77	52			4.0	8.1	4.25
78	53			5.3	4.2	3.50
79	54	52年10月～55年2月 (好況)	1979.11. 第2次石油危機	6.5	3.7	6.25
1980	55			1.1	7.7	7.25
81	56	58年2月～60年6月 (ハイテク景気)	1985.9. G 5 プラザ合意	2.9	4.9	5.50
82	57			2.8	2.8	5.50
83	58			1.6	1.9	5.00
84	59			3.1	2.3	5.00
85	60			5.1	2.0	5.00
86	61			3.0	0.6	3.00
87	62			3.8	0.1	2.50
88	63			61年11月～平3年2月 (バブル景気)		6.8
89	平成元	5.3	2.3			4.25
1990	2	5年10月～9年5月 (カンフル景気)	1990.8. イラクのクウェート侵攻 1991.1. 湾岸戦争勃発	5.2	3.1	6.00
91	3			3.4	3.3	4.50
92	4			1.0	1.6	3.25
93	5			1993.12. ガットウルグアイ・ラウンド交渉妥結	0.2	1.3
94	6	11年1月～12年11月 (IT景気)	2001.9. 米国同時多発テロ事件発生	1.1	0.7	1.75
95	7			1.9	▲0.1	0.50
96	8			2.6	0.1	0.50
97	9			1.6	1.8	0.50
98	10	14年1月～19年10月 (いざなぎ景気)	2003.3. イラク戦争	▲2.0	0.6	0.50
99	11			▲0.2	▲0.3	0.50
2000	12			2.3	▲0.7	0.50
01	13			0.4	▲0.7	0.10
02	14	2006.7. 日銀、ゼロ金利解除 2007.8. 米国サブプライムローン危機勃発 2008.9. リーマン・ショック 2009.10 欧州債務危機勃発	2007.7. アジア通貨・金融危機発生	0.3	▲0.9	0.10
03	15			1.7	▲0.3	0.10
04	16			2.4	0.0	0.10
05	17			1.3	▲0.3	0.10
06	18	2011.3. 東日本大震災		1.7	0.3	0.40
07	19			2.2	0.0	0.75
08	20			▲1.0	1.4	0.30
09	21			▲5.5	▲1.4	0.30
2010	22			4.7	▲0.7	0.30
11	23			▲0.5	▲0.3	0.30
12	24			1.4	0.0	0.30
13	25			1.6	0.4	0.30

Notes : 1. 実質経済成長率は、80年までは68SNA・90暦年基準、81年以降は93SNA・95暦年基準、1995年以降は連鎖方式による

Real GDP growth was calculated by the SNA68 on the 1990 calendar-year basis until 1980; by the SNA93 on the 1995 calendar-year basis in and after 1981; and by the chain method in and after 1995.

2. 消費者物価指数は、71年以降は05年暦年基準、それ以前は00年暦年基準

Consumer Price Index is on the 2000 calendar-year basis until 1970, and on the 2005 calendar-year basis in and after 1971.

Source : 内閣府 資料(旧経済企画庁「国民経済計算年報」、旧総務庁「消費者物価指数年報」含む)、日本銀行「物価指数月報」「経済統計年報」等より作成

Compiled from data available from Cabinet Office (including the ex-Economic Planning Agency's "Annual Report on National Accounts" and the ex-Management and Coordination Agency's "Annual Report on the Consumer Price Index"), BOJ's "Price Indexes Monthly" and "Economic Statistics Annual," etc.

(2) 基調判断の変化 Assessment of the Current State of the Economy

報告月	該当月	基調判断	輸出	輸入	
2012年 1月	11月	景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。	このところ弱含んでいる。	このところ増勢が鈍化している。	
	2月	12月	//	//	
	3月	2012年 1月	//	//	
	4月	2月	//	横ばいとなっている。	
	5月	3月	景気は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。	持ち直しの動きがみられる。	//
	6月	4月	//	持ち直しの動きがみられる。	
	7月	5月	//	//	
	8月	6月	景気は、このところ一部に弱い動きがみられるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。	弱含んでいる。	横ばいとなっている。
	9月	7月	景気は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みがみられる。	//	//
	10月	8月	景気は、引き続き底堅さもみられるが、世界景気の減速等を背景として、このところ弱めの動きとなっている。	//	//
	11月	9月	景気は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている。	//	//
	12月	10月	//	このところ緩やかに減少している。	//
2013年 1月	11月	景気は、弱い動きとなっているが、一部に下げ止まりの兆しもみられる。	//	//	
	2月	12月	景気は、一部に弱さが残るものの、下げ止まっている。	//	//
	3月	2013年 1月	景気は、一部に弱さが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。	//	//
	4月	2月	//	下げ止まりつつある。	//
	5月	3月	景気は、緩やかに持ち直している。	持ち直しの兆しがみられる。	//
	6月	4月	景気は、着実に持ち直している。	持ち直しの動きがみられる。	//
	7月	5月	景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。	//	//
	8月	6月	//	//	//
	9月	7月	景気は、緩やかに回復しつつある。	このところ持ち直しの動きが緩やかになっている。	//
	10月	8月	//	おおむね横ばいとなっている。	このところ持ち直しの動きがみられる。
	11月	9月	//	このところ弱含んでいる。	//
	12月	10月	//	//	持ち直している。

Source: 内閣府「月例経済報告」より作成
Compiled from Cabinet Office's Monthly Economic Report